

補 導 情 報

令和2年 5月10日発行 上田市少年育成センター(事務局) R2-1号
上田市天神1-8-1 上田駅前ビルパレオ5F 電話:23-6370 FAX:23-6368

「させていただく心」で井戸掘り・・・

～カンボジア支援にかかわって20年～

上田市少年補導委員会 会長 宮下 幸良

新型コロナウイルスの感染が、予想以上の拡大を見せています。このような事態になるとは思ってもいませんでした。皆さんも新型コロナウイルスで、毎日大変な状況でお過ごしのことと思います。

私事ですが、3月は予定していました四国・カンボジア・フィリピン旅行、そしてすべての会議がキャンセルとなり、仕事以外はすることがなくなりました。今回は、事務局からの要望もあり、会長挨拶の代わりに、私が長い間関わってきたカンボジア支援について少し書かせていただきます。

今から20年程前、初めてカンボジアで井戸掘りをしました。なぜ「カンボジア」で「井戸掘り」なのかというと、当時現地に住んで居た内田弘慈さん(元奈良東大寺律師・故人)にお会いしたのがきっかけです。

彼はカンボジア内戦後現地に行き、人々が飲み水のない生活の中で、雨水のたまり水を使用しているのを見て驚きました。衛生状態の悪いカンボジアでは、当時の平均寿命は50歳代、成人になる前に命を落とす子どもたちもたくさんいたのです。

彼は井戸を掘り、きれいな水を使用できるようにと活動を始めました。また同時に戦争孤児のめんどうをみる為に私設孤児院も開設していました。その話を聞き、私も少しでも協力できればと思い、井戸掘りのお手伝いをするようになったのです。

私は現在、出身高校である上田千曲高校の、定時制振興会の会長を仰せつかっております。そのカンボジアの状況をボランティア班の生徒に話をしたところ、ボランティアの一環として支援してもらうことになりました。高校の先生・生徒(千曲高校・上田東高校・

染谷丘高校・長野工業高校)と現地に行き、千曲祭(千曲高校文化祭)の売り上げ等で第1基目の井戸建設をしたのが、平成9年でした。それから昨年までに合計24本の井戸を掘りました。最初のころは現地へも生徒たちが同行していましたが、保護者の負担が大きいため、その後は私と千曲の先生・友達数人と行き、井戸を掘る活動を20年間続けてまいりました。当初は市街地で掘っていましたが、その後は田舎で一軒一基として掘っています。

さて、井戸掘りにかかる費用は一基10万円です。この資金は、千曲高校のボランティア班の生徒が文化祭でカンボジアから調達した物品を売ったり、バザー

(次ページへつづく)

井戸完成記念写真(右一人目宮下氏)



= ご 案 内 =

5月25日(月) 上田市少年補導委員会 総会 中止

新型コロナウイルスの感染防止のため、5月25日(月)に計画しておりました少年補導委員会総会は中止といたします。理事会は実施し、その決定内容は郵送にて皆様に御連絡申し上げます。



井戸を掘る宮下氏

で集めたりしたもので、生徒の思いが詰まったお金です。そこに様々な人からの寄付を足して井戸掘り費用としています。

また、「旅費をかけてお金を持って行かなくても送金すればいいのでは」とよく言われます。実は、現地ではそのお金を別のことに使われてしまい、送っただけでは本当にそのお金で井戸が掘られているか分からなくなってしまうのです。そんなことで、自分たちでカンボジアに赴き、立ち会って確認しなければと思いつつ毎回届けています。

ところで、私が長く続けている理由は、大きく分けて三つあります。まず一つ目は、こんな光景が目に焼き付いているからです。カンボジアには雨季と乾季があります。初めて現地に行った時は、雨季に降った雨水をため池にためて飲み水とし、次の雨季までずっと使用している状態でした。驚くことに、乾季の終わり頃にはため池に動物の死骸が浮いていて、彼らはそれをそのまま飲み水として使用しているのを目にしたからです。生徒達にもその写真を見せると、その現状に驚きつつも、現地での活動の意義と必要性を理解し、協力してくれました。

二つ目は、なんといっても現地の皆さんの喜ぶ姿です。井戸が完成して、きれいな水を口にした親子の笑

顔は忘れられません。「やったね！」と喜びがわく瞬間です。

そして、三つ目。もう一つの大きな理由があります。初めて内田さんに会った時に言われた言葉「ボランティアとはやってあげるのではなく、させていただく心です」でした。「させていただいている」のであれば自分の都合でいつやめてもいいと思いつつ続けています。

また、私たちの活動に賛同してくれた上田高等学校の生徒たちが、カンボジア支援に立ち上がって3年目を迎えています。今年は生徒20人と職員が現地まで井戸掘り交流に行く予定でしたが、コロナウイルスの影響で残念なことに延期となっています。

今回は、井戸掘りのお話をさせていただきましたが、我々の少年補導委員の活動も共通することがあるかと思っております。心の中に何時も内田さんの言葉、「ボランティアとはやってあげるのではなく、させていただく心です」があるので、すべて楽しみながら長くやってこられたのだと思います。



上田千曲 100 周年の刻印

新職員紹介

柳澤 敏江 さん

4月1日付で上田市少年補導委員会事務局に新しい職員をお迎えいたしました。昨年まで少年補導委員会の事務局を担当しておりました宮島さんの後任です。センター補導関係を中心に新しい力を発揮していただきたいと思っております。



新職員の柳澤です。よろしくお願いします。

さて、4月15日の午後事務局で市内巡回しました。

アリオでは、スーパー部門は混むけれどその他ではお客が三割位減とか。ゲームセンターも営業中でしたが、お客さんは2~3組で高齢者と小学生の親子連れのみでした。TOHOシネマズ上田も営業中でしたが、ほとんど人はいませんでした。その後映画館も休館となったそうです。

公園下のバスケットボール練習場には、男子高校生10名程がバスケットゴールで遊んでいました。体力が有り余っているのでしょうか。とても楽しそうでした。上田公園には、お花見の人たちが何人か歩いていました。高齢者とお孫さん、幼児と親子連れが何組も見られました。来年は、みんなでお花見が十分楽しめることを祈って今回の巡回を終えました。

今こそ助け合いが大事

コロナウイルス早く終息して!

4月上旬、ついに上田保健所管内から一名のコロナウイルス感染者の方が出ました。東京をはじめとする首都圏では、誰もがいつコロナウイルスに感染しても不思議ではない状況となっており、長野県にも緊急事態宣言が発出されたところです。

この間、上田市の行事はすべて中止、もしくは順延となっています。「当面の間」とはなっていますが、コロナとの戦いは長丁場が予想されているところでもあります。

こういう時こそ、地域の力を発揮することが大切です。一人暮らしのお宅への声かけ、ストレスを抱えた子どもたちへの声かけをお願いします。補導の活動は停止ですが、「助け合いの心」を大切に、みんなでこの難局を乗り越えていきましょう。

補導現場の声から

感想意見：長瀬地区

Aさん

新型コロナウイルス感染症拡大に備える中で少年補導委員3名はマスクを着用、5メートル間隔を維持して離れ、登校してくる児童に「あいさつ運動」を実施いたしました。ほとんどの子どもはマスクをして元気に挨拶してくれました。



感想意見：中央A地区

Bさん

夕暮れの6時ごろ、自転車に乗りイヤホンをしている高校生と、中学3年の女子2人が話をしていました。制服姿、「早く帰りなさい。」と声かけすると、素直に聞くと思ったら「なんで？ 帰るわ!! だれ??」と女子二人。

ベテランの補導員が、ゆっくりと説明して何とか納得、帰宅しました。多感な子供たち、きちんと声かけをすることが大事だと思いました。

コラム

「なぜ勉強するのか どう仕事するのか」

さて、今日は、『なぜ勉強するのか』『仕事とは何か』というお話です。私も現役のころ、生徒諸君に何度となくお話しさせていただきました。

昔、スカンジナビア航空が経営破綻に陥るところをV字回復させた、若き経営者ヤン・カールソンが好んで使った寓話で、事あるたびに社員に話していたそうです。今にもつぶれそうな航空会社が、職員の意識回復で蘇ったという実話です。

ある日、一人の旅行者が道端で石を削っている一人の石工に声をかけました。

「あなたは、いったい何をしていますか？」

するとその石工は、迷惑そうな顔をしながら腹立たしげにこう言いました。

「見て分からないのか。このいまましい石を削っているんだ！邪魔だから、とっとと向こうに行ってくれ。」

旅行者は慌ててその場を離れ、しばらく歩いていると、別の石工が同じように石を削っています。その旅行者は、懲りずに先ほどと同じ質問を試みた。するとその石工は、晴れやかな顔をして誇らしげにこう答えました。

「よくぞ聞いてくれました。私は今、あの山の上の大聖堂(神の家)の基礎を作っているんですよ！」

前者は嫌々仕事をやっているのに対して、後者は目的がはっきりしていて、使命感や責任感を感じます。石材のできあがりも全く違うことでしょう。当然、日々の仕事を通じてやりがいや達成感を得るに違いありません。

我々はこんな目的を持った子どもたちを育てたいと思うのです。子どもたちの目標のある生活と懸命な努力を期待するものです。子どもたちの後押しをみんなでしたいと思います。

(事務局)



令和2年6月～7月			街頭補導計画		上田市少年補導委員会		
日	曜	6月活動班	日	曜	7月活動班		
1	月		1	水	東部A 東部B		
2	火	東部A 東部B	2	木	神川B 神川A		
3	水	神川B 神川A	3	金	駅前パトロール 塩尻 北部A 北部B		
4	木	南部A 南部B	4	土	南部A 南部B		
5	金	中央A 中央B	5	日	中央A 中央B		
6	土	塩尻	6	月			
7	日	北部A 北部B	7	火	西部A		
8	月		8	水	西部B		
9	火	西部A	9	木	第45回 補導活動推進大会 東御市		
10	水	西部B 西部C	10	金	西部C		
11	木	城下A 城下B	11	土	城下A 城下B		
12	金	神科A 神科B	12	日	神科A 神科B		
13	土	豊殿 東塩田	13	月			
14	日	中塩田A 中塩田B	14	火	豊殿		
15	月		15	水	東塩田		
16	火	西塩田	16	木	中塩田A 中塩田B		
17	水	別所	17	金	西塩田 別所		
18	木	川辺泉田A	18	土	川辺泉田A		
19	金	川辺泉田B	19	日	川辺泉田B【家庭の日】		
20	土	川辺泉田C	20	月			
21	日	川西A 川西B【家庭の日】	21	火	川辺泉田C		
22	月		22	水	川西A 川西B		
23	火	内村	23	木	内村		
24	水	丸子中央A 丸子中央B	24	金	丸子中央A		
25	木	少年補導委員会 全体研修会② 予定	25	土	丸子中央B		
26	金	依田	26	日	依田		
27	土	長瀬	27	月			
28	日	塩川	28	火	長瀬		
29	月		29	水	塩川		
30	火	長 傍陽 本原 武石	30	木	長 傍陽 本原		
			31	金	武石		

《 事務局からのお知らせ 》

【重要なお願い】

いつもの通り計画してみましたが、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら各班の事情を踏まえ、できる限りの活動でお願いします。

【6月・7月の目標】《たまり場、遊び場における青少年の行動、状況をつかもう》

◆6月は第1回一日補導をお願いします。(該当地区は以下のとおりです。)

(東部、中央、西部、塩尻、神川、豊殿、中塩田、別所、川西、丸子中央A、依田、塩川、傍陽、武石)

◆7月は環境チェック活動実施の月です。(全地区で実施して下さい。)

一日補導活動の詳細は活動ガイド7P、環境チェックは活動ガイド8Pを参照。

▼班長さんへのお願い

補導活動の報告書は活動後、1週間以内に返信用封筒にて報告をお願いします。

(実績データを配布しましたところ、そのあとたくさんの報告書が届きました)